

「農事組合法人鳥海高原花立牧場」への協調融資について ～搾乳用ロボット導入により近代的な酪農経営へ挑戦する農業法人を 秋田銀行と日本公庫が協調支援～

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、日本政策金融公庫（略称：日本公庫）秋田支店農林水産事業とともに、由利本荘市矢島町の「農事組合法人鳥海高原花立牧場」（代表理事 佐藤 俊弥）に対し、協調融資により経営規模拡大を支援いたしましたので、お知らせいたします。

当行と日本公庫は、業務連携・協力に関する覚書を締結しており、今後も相互に連携して地域経済の活性化に努めるとともに、秋田の農業をリードする農業生産者の皆さまを総合的に支援させていただきます。

記

1 農事組合法人鳥海高原花立牧場について

本先は、鳥海山の裾野にある公共牧場を管理し、放牧を活用したジャージー牛約 120 頭の酪農経営を行っております。本先の位置する由利本荘市矢島地区はかつてジャージー牛による酪農経営が非常に盛んな地域でしたが、近年は酪農家が著しく減少しております。本先は中でも攻めの姿勢での経営を行う意欲あふれる経営体であり、酪農経営に加え、体験学習の受入や野外フェスタの主催等、地域貢献・交流も積極的に取り組むなど、地域に愛される経営を行ってきました。

2 搾乳用ロボットの導入について

本先は、自社の経営をさらに発展させ地域の酪農を維持していくため、この度、国の補助事業である畜産クラスター事業を活用し、搾乳量がジャージー牛よりも多いホルスタイン牛の新規導入による 300 頭規模への経営拡大に取り組むこととしました。最大の課題である人手不足や労働環境の改善に対応するため、最新鋭の搾乳用ロボットを導入し、時代の潮流に合わせた持続可能な酪農経営を目指します。当行と日本公庫は、協調融資により搾乳用ロボット等を中心とした設備導入を支援するとともに、関係機関との連携による経営管理や北海道からの乳牛導入に関与するなど、コンサルティング支援も継続しています。

本件は県内農業産出額の増加および地域への雇用創出など、秋田県の農業振興・地方創生にも寄与することから、秋田県および由利本荘市からの期待も大きい事業です。今後継続される乳牛の導入等につきましても、引き続き当行と日本公庫が連携して支援を行ってまいります。

3 ご融資額

秋田銀行 8 8 百万円（秋田県農業近代化資金）

日本公庫 3 4 4 百万円

（以 上）

【参 考】

1 農事組合法人鳥海高原花立牧場について

代表理事 佐藤 俊弥
住 所 秋田県由利本荘市矢島町城内字花立 6 0
資 本 金 1 百万円
事業内容 酪農経営

2 投資計画概要

施設内容 乳用牛舎 1 棟、哺乳牛舎 1 棟、管理棟 1 棟、飼料調整庫 2 棟、スラリーストア
所 在 秋田県由利本荘市矢島町城内字花立 2 - 3 2
総事業費 約 8 億円
特 徴 ホルスタイン牛を新規に飼養し、生乳生産および肉用子牛生産を拡大させるために必要な牛舎等の施設整備を実施。牛舎の新設にともない、搾乳ロボット等を導入し、生産性向上および労働力軽減をはかる。